



君子蘭(くんしらん)  
花言葉… 貴い・情け深い

原産地は南アフリカの雨の少ない樹林地帯。「高貴な花」とのイメージから「君子蘭」の名前になった。茎の先に橙色のきれいな花をたくさんつける。晩秋頃から赤い実をつける。開花するには温度が10度まで下がる日が60日間ほど必要、とのこと。

# 花のお便り

2014.4 No.94

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp

http://www.miyazaki-p.co.jp/

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2  
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

3月の初旬から中旬までは寒い日が続いたが、20日以降は一気に温度計もうなぎ昇りとなり、桜も見頃を迎えた。温暖化の傾向は否めないが、現状では日本の四季は辻褄を合わせてくれる。東日本大震災は3年目を迎えたが、復興の道筋が厳しい。昨年女川で見た、津波で倒れた建物が、復興事業の妨げになるのか撤去されると聞いた。地元の中学生在が存続の活動との噂も聞いたが。



## 挨拶状印刷は美しさが大切

挨拶状はハガキ、カードサイズなどがあるが、近頃は家庭で印刷する傾向が強くなってきました。私もそのような挨拶状をいただく機会が増えてきましたが、お世辞にも美しい挨拶状とは言えないものも多くあります。たかがハガキと言わなれ、あの黄金比の紙の中に、天地左右のバランス、文字のサイズ・書体に気を配り、本文と住所・名前の位置関係などを考えながら作成するのは、なかなか気を使います。挨拶状の神髄は、差出人の気持ちや、受け取る人にしっかりと伝えることが大切で、それには随所に気を配りながらの作成が必要です。そんな心持ちで挨拶状の印刷をしています。



## 疑問に答える⑤ 印刷枚数が少ないと単価が高くなるのはなぜ？

印刷は製造加工業なので、簡単な説明では分かり難いですが、もっとも大事なことは100枚でも10000枚の印刷でも作業内容は同じだということです。それはすべての工程で、同じ料金が掛かるということになります。さらに、何枚印刷しても費用が固定している作業と、枚数が増えると単価が変化(安くなる)する作業があることも重要なことです。

ここで具体的な数字で表してみます。

●A3判両面 1/1色 用紙 上質35K 三つ折り加工

	用紙	データ作成	刷版	印刷	三つ折り	
100枚の印刷	200円	15000円	6000円	8000円	5000円	= 34200円 @342
10000枚の印刷	18000円	15000円	6000円	22000円	15000円	= 76000円 @7.60

単価はかなりの差になりますが、よく見るとデータ作成・刷版代(固定費)は枚数が増えても変化がありませんが、印刷・三つ折り(変動費)は金額・単価に変化ができました。枚数が少ないと固定費の比率が大きくなり、変動費の単価も比率では高くなるため、全体の単価を押し上げる結果になります。

## 気まぐれエッセイ 横須賀線貨物専用線の謎②

私が新聞配布図上で見た直線の「道路」の正体は、道路地図を開き答えが判明した。それは道路ではなく、なんとも不可思議な鉄道の線路であった。線路の多くの部分はトンネルで形成され、地上に出る部分はわずかで、名称はJR武蔵野線と言い、貨物線のトンネルの部分は府中本町駅より神奈川県鶴見駅までとなっている。だが少し調べただけでもこの線路は様々な歴史を秘め、謎の尽きない線路であるこ

とも判明した。JR武蔵野線は、鶴見駅より府中本町駅を通り、埼玉県南浦和駅、千葉県の新松戸駅を経て、西船橋駅まで首都圏を結ぶ一大環状線をなしている。現在は週末になると旅客列車が特別運行しているようだ。さらに貨物専用線と言いながら、贅沢にも複線で、このあたりが何か事情がありそうで、調べると戦後日本の物語が垣間見えてくる。